

第5章 先導的に取り組む施策はなにか

1. 先導的プロジェクトの選定

当初の環境基本計画では、「ごみ減量・リサイクル・やろまいかプロジェクト」「水環境づくり・やろまいかプロジェクト」「環境学習・やろまいかプロジェクト」「新エネルギー・自然エネルギー・省エネルギー・やろまいかプロジェクト」の4つを「先導的プロジェクト」と位置付け、具体的施策を展開し、取り組んできました。

今回の合併に伴い、新市の森林面積は大幅に増加し、その維持管理が大きな課題となっています。一方で、当市は東濃檜の産地として森林施業が重要な地場産業となっており、この森林を生かした取り組みも新市として求められていることから、「森林づくり・やろまいかプロジェクト」を5つ目の「先導的プロジェクト」に追加し、新たに取り組んでいきます。

2. 先導的プロジェクトの内容

(1) ごみ減量・リサイクル・やろまいかプロジェクト

<概要>

市内における、ごみの排出量は、増加傾向にあります。また、野外焼却や山林、河川などへの不法投棄、ごみのポイ捨てなどにより、良好な環境が損なわれています。

基本計画策定時の市民アンケート調査結果においても、川岸や草むら、田畑、雑木林などへのごみの不法投棄が目につくと感じている市民が多数でした。

こうした状況から、市民、事業者、市がそれぞれの立場で、ごみの減量、リサイクルの推進に向けた取り組みと、不法投棄やごみのポイ捨てをしないモラルの向上を図る必要があります。

また、基本計画策定の際の地区別懇談会においても、ごみ問題に関する意見や要望が多く、市民の関心の高さがうかがえます。

そのため、環境への負荷の少ない循環を基調とした地域社会を目指し、第1に発生抑制、第2に使用済み製品の再使用、第3に原材料としてのリサイクル利用、第4にリサイクル困難なものについての廃棄物の適正処理を行うことを基本に「ごみ減量・リサイクル・やろまいかプロジェクト」に取り組めます。

<関連する基本目標>

- ・基本目標 3：人に迷惑をかけない環境にしよう
- ・基本目標 5：限りある資源を大切にしよう

<プロジェクトへの取り組み>

- ・生ごみ堆肥化回収システムモデル事業
- ・レジ袋削減のマイバッグキャンペーン
- ・不法投棄防止パトロール
- ・市内一斉清掃の推進
- ・集団資源回収の推進
- ・リサイクルボックスの充実
- ・生ごみ処理機の普及
- ・紙、廃プラスチックの資源化の推進



(2) 水環境づくり・やろまいかプロジェクト

<概要>

市内には、木曾川が東西に貫流し、これに中津川や落合川、付知川などが合流する恵まれた水環境を有しています。

これらの河川における水環境は、多様な水生生物を育むとともに、人と自然とのふれあいの場として多くの人々に親しまれています。

基本計画策定時の市民アンケート調査結果においても、望ましい環境として「きれいな水」が上位となっており、市民が安心して親しむことができる水環境づくりを進める必要があります。

そのため、河川水質はもちろんのこと、水源としての森林整備、生物の良好な生息環境を保全・創出する多自然型の川づくりなどを包括した「水環境づくり・やろまいかプロジェクト」に取り組みます。

<関連する基本目標>

- ・基本目標 1：自然がつくる空気・水・土を守ろう
- ・基本目標 6：森林や里山を守ろう
- ・基本目標 8：水環境を守ろう
- ・基本目標 10：農地を保全し、多面的機能を確保しよう

<プロジェクトへの取組み>

- ・農村集落機能による農地の公益的機能確保の維持
- ・水洗化の推進による水質保全
- ・健全で多目的な機能を発揮する森林の育成
- ・自然環境に配慮した河川改修
- ・ブルーリバー作戦の推進

(3) 環境学習・やろまいかプロジェクト

<概要>

より良い環境づくりを推進するには、それぞれの立場から環境について学び、行動することが望まれます。近年、環境問題は、生活排水による河川の汚濁から、地球温暖化などの地球的規模の環境問題に至るまで、極めて広く、また複雑多様化しています。このような環境問題に対応していくためには、環境との関わりについて理解と認識を深め、環境に配慮した生活・行動を行っていくことが求められており、環境学習の推進が一層重要となっています。

また、子どもの頃からの活動や体験を通じて豊かな感受性を育て、より良い環境づくりや環境の保全に配慮した行動力を身につけていくことが大切です。

そういった市民（地域）、事業所、学校、行政が一体となって環境保全活動を取り組んでいくために、幅広い層を対象に「環境学習・やろまいかプロジェクト」に取り組みます。

<関連する基本目標>

- ・基本目標 7：生態系を守ろう
- ・基本目標 9：自然とふれあおう
- ・基本目標 11：歴史的資源と文化遺産を保全し、今の生活に活用しよう
- ・基本目標 13：みんなで環境を守る行動をしよう
- ・基本目標 14：地球環境について学び、考え、身近なところから行動しよう

<プロジェクトへの取組み>

- ・こどもエコクラブ活動の推進
- ・「環境フェスタ中津川」の開催
- ・河川環境等の「あおぞら教室」
- ・環境に関する出前講座の推進
- ・学校教育における環境学習の充実
- ・社会教育における環境学習の充実
- ・幼児向け環境体験活動の推進



第4回環境フェスタ中津川

(4) 新エネルギー・自然エネルギー・省エネルギー・やろまいかプロジェクト

<概要>

現代の社会活動は、エネルギーの大量消費によって維持されていますが、地球温暖化や化石燃料などの資源の枯渇が懸念されており、新しいエネルギーへの転換が求められています。

当市でも、省エネルギーの推進はもちろん、太陽光や水力など環境への負荷の少ない新エネルギーや自然エネルギーを活用したまちづくりをしていくことが必要です。

そのため、「新エネルギー・自然エネルギー・省エネルギー・やろまいかプロジェクト」に取り組みます。



<関連する基本目標>

- ・基本目標 4：自然にやさしい新エネルギーを活用しよう

<プロジェクトへの取組み>

- ・地域新エネルギービジョンの策定
- ・環境家計簿の普及
- ・廃棄物エネルギーの活用
- ・住宅用太陽光発電の普及啓発
- ・自然エネルギーの活用・導入
- ・公共施設への太陽光発電の導入



(5) 森林づくり・やろまいかプロジェクト

<概要>

当市は、東に木曾山脈（中央アルプス）、南に三河高原、北に阿寺山地、ニツ森山地に囲まれ、市域においても約80%が森林の緑豊かな都市です。

森林には、土砂災害の防止、水源のかん養、地球温暖化防止、木材生産など公益的機能があり、生活環境に大きくかかわっています。その森林の持つ公益的機能を維持・増進するには森林の整備が必要です。

現在は、人工林で整備を必要とする森林が多く、利用可能な大きさに成長した森林も徐々に増えています。しかし、森林整備を担う林業・木材産業活動は長い間低迷しており、森林所有者の意識も低く未整備森林が増え、森林の荒廃化が懸念されています。

そのため、市内の大部分を占める森林の環境保全、環境整備を目標に「森林づくり・やろまいかプロジェクト」に取り組みます。



<関連する基本目標>

- ・基本目標 6：森林や里山を守ろう
- ・基本目標 7：生態系を守ろう
- ・基本目標 8：水環境を守ろう
- ・基本目標 9：自然とふれあおう

<プロジェクトへの取組み>

- ・森林総合整備事業の推進
- ・松くい虫被害木伐倒事業の推進
- ・造林保育事業の推進
- ・間伐補助金事業の推進
- ・間伐促進強化事業の推進

